



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 不二ラテックス株式会社
 コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 金原 辰弥
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3293-5686

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,739	9.3	41	87.2	61	80.3	48	78.7
2019年3月期第2四半期	4,124	4.9	326	2.9	313	19.8	227	22.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 47百万円 (79.9%) 2019年3月期第2四半期 236百万円 (15.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.21	
2019年3月期第2四半期	179.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,035	3,223	24.7
2019年3月期	13,567	3,240	23.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,223百万円 2019年3月期 3,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	12.4	61	90.0	42	92.0	30	92.5	23.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,286,199 株	2019年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,759 株	2019年3月期	16,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,269,559 株	2019年3月期2Q	1,269,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、実質GDP成長率が鈍化するなど力強さを欠く状況でした。世界経済では米中貿易摩擦の長期化による世界的な設備投資の停滞や、地政学的な不透明感、先進国での高齢化や生産性の伸び悩みなど構造的な要因を背景とした低成長化が顕在化しつつあります。

かかる状況は、中核事業である医療機器事業および精密機器事業の市場環境に影響し、当第2四半期連結累計期間の売上高は、37億3千9百万円と前年同四半期に比べ3億8千4百万円(△9.3%)の減少となりました。

利益面では、営業利益は4千1百万円と前年同四半期に比べ2億8千4百万円(△87.2%)の減益、経常利益は6千1百万円と前年同四半期に比べ2億5千1百万円(△80.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千8百万円と前年同四半期に比べ1億7千9百万円(△78.7%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては、商品の認知度向上を狙いにWeb広告や販促企画を展開し、大型小売店や大手ネット販売を中心とした販路開拓に継続的に注力しました。消費の減少傾向、価格の二極化、新素材製品のシェア上昇により厳しい状況が続くものの、新素材コンドームSKYNの定番化、ネット販売の伸長により売上は拡大しました。また海外市場においては、特に中国市場における高価格帯製品に対する需要後退を受け、販売が減少しました。

超音波診断装置等のプローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については、アレルギーフリー新素材製品に対するニーズが底堅いものの、工場の段階的移転に伴う管理コスト増加が響きました。

この結果、売上高は11億3千7百万円と前年同四半期に比べ2億1千1百万円(△15.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、売上減少に加えて競争激化に伴う利鞘の縮小、栃木千塚工場の竣工に伴う償却負担増加もあり8千6百万円の損失(前年同四半期は4千4百万円の利益)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは主要市場として位置付けている住宅設備、家電、複合機等の各分野において堅調な受注が続いたものの、半導体・液晶関連等の産業用設備投資の減少が影響し、全体的にはやや伸び悩みました。海外市場では一部取引先に対する出荷調整等の影響もあり、販売計画を下回りました。また製造原価に占める労務費や減価償却費の増加等が利益の圧迫要因となりました。

この結果、売上高は、23億1千8百万円と前年同四半期と比べ1億3千8百万円(△5.6%)の減少となりました。

セグメント利益は、3億6千3百万円と前年同四半期と比べ1億2千3百万円(△25.4%)の減益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は安定的な受注が見込めるものの、商材の逼迫や自然災害などによるイベントの中止や広告販促活動の縮小が影響し、販売計画を下回りました。この結果、売上高は1億9千5百万円と前年同四半期に比べ5千7百万円(△22.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、1百万円の損失(前年同四半期は1千2百万円の利益)となりました。

④ その他

食容器の受注が引き続き順調に推移し、売上高は8千8百万円と前年同四半期に比べ2千2百万円(33.0%)の増加となりました。

セグメント利益は、1千4百万円と前年同四半期と比べ2百万円(△14.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、130億3千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億3千1百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の3億2千7百万円、受取手形及び売掛金の2億円の減少などでありま

す。負債総額は98億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億1千4百万円減少しました。主な要因は、その他（設備関係電子記録債務）の1億9千4百万円、長期借入金の1億8千5百万円の減少などでありま

す。純資産総額は32億2千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1千6百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の1千4百万円の減少などでありま

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、12億4千4百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1億3千6百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億8千5百万円の収入（前年同四半期は2億5千5百万円の収入）となりました。

資金の主な増加要因は減価償却費の2億4千1百万円、売上債権の減少1億7千7百万円などであり、主な減少要因は仕入債務の減少1億3千3百万円などでありま

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3千万円の支出（前年同四半期は12億9千4百万円の支出）となりました。

資金の主な減少要因は有形固定資産の取得による支出4億1千8百万円などでありま

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億7千5百万円の支出（前年同四半期は11億6千5百万円の収入）となりました。

資金の主な増加要因は短期借入金の純増額1億5百万円、長期借入れによる収入1億円などであり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出2億5千万円、リース債務の返済による支出6千5百万円などでありま

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、当第2四半期連結累計期間における直近の業績の進捗を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、2019年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898,545	1,570,698
受取手形及び売掛金	1,922,573	1,722,163
電子記録債権	391,195	413,769
商品及び製品	575,922	662,135
仕掛品	792,658	861,275
原材料及び貯蔵品	748,116	701,711
その他	223,328	108,723
貸倒引当金	△847	△1,193
流動資産合計	6,551,491	6,039,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,883,503	2,911,670
土地	1,848,498	1,848,498
その他(純額)	1,685,455	1,636,342
有形固定資産合計	6,417,457	6,396,511
無形固定資産		
投資その他の資産	81,469	96,657
その他	511,608	499,277
貸倒引当金	△2,100	△2,100
投資その他の資産合計	509,508	497,177
固定資産合計	7,008,434	6,990,346
繰延資産	7,190	6,157
資産合計	13,567,117	13,035,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,359	242,391
電子記録債務	1,080,963	994,458
短期借入金	2,788,000	2,893,000
1年内返済予定の長期借入金	505,776	541,332
未払法人税等	29,801	23,458
賞与引当金	141,511	138,612
その他の引当金	-	19,845
その他	886,417	571,652
流動負債合計	5,721,829	5,424,751
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	3,244,184	3,058,518
退職給付に係る負債	131,159	112,183
その他	829,800	816,712
固定負債合計	4,605,143	4,387,414
負債合計	10,326,973	9,812,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,026,555	2,011,592
自己株式	△36,109	△36,589
株主資本合計	2,881,908	2,866,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,967	86,970
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	6,065	3,471
退職給付に係る調整累計額	△16,558	△12,046
その他の包括利益累計額合計	358,234	357,156
純資産合計	3,240,143	3,223,621
負債純資産合計	13,567,117	13,035,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,124,735	3,739,906
売上原価	3,077,098	2,969,509
売上総利益	1,047,637	770,396
販売費及び一般管理費	721,395	728,631
営業利益	326,241	41,765
営業外収益		
受取利息	243	210
受取配当金	4,443	5,028
受取賃貸料	2,698	6,745
為替差益	7,775	-
補助金収入	-	48,740
その他	5,532	9,637
営業外収益合計	20,692	70,361
営業外費用		
支払利息	23,444	39,857
賃貸費用	2,156	1,783
シンジケートローン手数料	7,062	3,750
為替差損	-	2,919
その他	1,206	1,992
営業外費用合計	33,869	50,302
経常利益	313,064	61,823
特別損失		
固定資産除却損	65	341
固定資産売却損	42	-
特別損失合計	107	341
税金等調整前四半期純利益	312,956	61,482
法人税、住民税及び事業税	77,759	11,273
法人税等調整額	7,540	5,666
法人税等還付税額	-	△3,977
法人税等合計	85,300	12,962
四半期純利益	227,656	48,519
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,656	48,519

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	227,656	48,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,132	△2,996
為替換算調整勘定	△2,824	△2,594
退職給付に係る調整額	4,259	4,511
その他の包括利益合計	8,567	△1,078
四半期包括利益	236,223	47,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,223	47,440
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	312,956	61,482
減価償却費	157,600	241,498
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	345
受取利息及び受取配当金	△4,686	△5,238
受取保険金	—	△2,824
支払利息	23,444	39,857
シンジケートローン手数料	7,062	3,750
社債発行費償却	1,033	1,033
有形固定資産除却損	65	341
有形固定資産売却損益(△は益)	42	—
売上債権の増減額(△は増加)	57,049	177,742
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,591	△108,543
仕入債務の増減額(△は減少)	39,820	△133,281
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,103	△2,882
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,174	△14,431
その他の引当金の増減額(△は減少)	7,848	19,845
その他	△80,631	53,427
小計	371,759	332,123
利息及び配当金の受取額	4,686	5,238
保険金の受取額	—	2,824
利息の支払額	△23,667	△39,137
法人税等の支払額	△97,306	△15,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	255,471	285,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,297,524	△418,319
無形固定資産の取得による支出	—	△9,932
投資有価証券の取得による支出	△2,694	△2,857
その他	5,553	244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,294,665	△430,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	105,000
長期借入れによる収入	1,127,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△253,330	△250,110
シンジケートローン手数料の支払による支出	△2,742	△780
リース債務の返済による支出	△42,412	△65,362
自己株式の取得による支出	—	△480
配当金の支払額	△63,417	△63,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,165,097	△175,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△6,817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	125,912	△327,407
現金及び現金同等物の期首残高	1,255,114	1,571,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,381,027	1,244,391

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,348,889	2,457,000	252,189	4,058,079	66,656	4,124,735	—	4,124,735
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,348,889	2,457,000	252,189	4,058,079	66,656	4,124,735	—	4,124,735
セグメント利益	44,775	487,090	12,719	544,585	17,437	562,022	△235,781	326,241

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△235,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、栃木千塚工場新設に伴う建設仮勘定が増加したことにより、前連結会計年度の末日に比べてセグメント資産が、「医療機器事業」において730,199千円、「精密機器事業」において176,819千円、「その他」において247,907千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,137,355	2,318,842	195,022	3,651,220	88,685	3,739,906	—	3,739,906
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,137,355	2,318,842	195,022	3,651,220	88,685	3,739,906	—	3,739,906
セグメント利益 又は損失(△)	△86,723	363,474	△1,559	275,191	14,871	290,062	△248,297	41,765

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△248,297千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。